

阿弥陀新池

ため池訪問ルール	駐車場	魚釣り	バーベキュー	ペット糞尿	たき火	生物放流	車両進入	その他
○	×	×	×	×	×	×	×	



ため池データ

所在地	高砂市阿弥陀町阿弥陀字皿池ノ上 359-1		
総貯水量	88,000 m ³		
貯水面積	44,000 m ²	受益面積	20.9ha
管理者	阿弥陀東部水利組合		
築造年	1669年(寛文9年)		
改修年	2011年(平成13年)		



高砂市

ため池紹介

阿弥陀新池は、高砂市北部の通称播磨アルプス主峰高御位山の南方に位置する谷池です。以前は下流の水田への用水提供のみに使用されてきましたが、平成13年3月に池改修が実施され、その際円形の島・堤防上遊歩道が設置されました。

堤防上遊歩道は、高砂市北部の田園風解が眺められ、無風の際は主峰高御位山が逆さに水面に映し出されるため、散歩を楽しむ人も増加しています。また、円形島は高御位山登山の駐車場・地元のグランドゴルフ場として高頻度に利用されています。

◆歴史・文化等

池北側の長尾新村の開墾を1659年阿弥陀の一個人が初め、その10年後阿弥陀新池が作られました。その当時は北・東面の道路も池の中であり、北部にも同地番が残っているためもう少し大きい池だったようです。この他周辺には長池・彦太郎大池等の池が存在しましたが、開墾時にこれらの池は埋め立てられ、字名のみになごりが残っています。また、北山新村ができた際、南面下側に三日月池が併設されています。

◆自然環境

上流に長尾集落はありますが、播磨アルプスの雨水のみが流入するため比較的水質が良く、小魚・水生植物・トンボ等水生昆虫の生育環境にも恵まれています。古今を通じ、ウナギも発見されています。夏期には希少種であるガガブタが繁殖します。冬期はキンクロハジロ・ホシハジロその他カモ類及びオオバンなどが多く訪れます。また、2010年11月の池干時にコウノトリが4羽、1週間程度訪れ話題となりました。

防災に関しては、背面の播磨アルプスは全面流紋岩質溶結凝灰岩に覆われ表土が非常に薄いため、豪雨時に出水が早くピーク流量が多いのが特徴です。新池洪水吐より流出した水は下流の三日月池に流入し、北山集落中を流れ鹿島川に至るため、下流の水害防止のためにも、この池の防災上の位置も高くなっています。そのため、豪雨時の巡回・事前の放流等の措置が重要です。

◆その他(特産物等)

近辺で長尾楽笑村という団体が休耕田を利用したブルーベリー・野菜等の栽培を行っています。また、外来種排除のためアカミミガメキャッチャーを設置し在来魚類及び小エビの保全に努めています。

ため池ごよみ



項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
農作業	水稲			●●●●●●●●									
	溝掃除(普請)	●											
水利・保全作業	堤体草刈	●										●	
	クリーンキャンペーン(草刈・清掃)		●									●	
	配水操作(ゲート、セキ板等)			●●		●●							
	かいぼり(池干し)										●●		
イベント等	野鳥観察会												
	桜の花見												
	夏のクリーンキャンペーン												
	冬のクリーンキャンペーン												
主な動植物の見頃	花見			●●									
	景色等の見頃(周辺も含めた眺め)												
その他	大雨前の事前放流			●●		●●							
	里海協働活動												